

# 参考資料

	ページ
実績編	
・ 連結 主要決算数値（12年度対11年度）	1
・ 個別 主要決算数値（12年度対11年度）	2
営業主要計数 内訳（12年度対11年度）	3
工業用ガス販売動向	4・5
見通し編	
・ 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度	6
・ 連結 主要決算数値（最新見通し対当初見通し）	7
・ 個別 主要決算数値（最新見通し対当初見通し）	8・10
営業主要計数内訳（最新見通し対当初見通し）	9・11
・ 連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳	12

# 実績編

## 連結 主要決算数値(12年度 対 11年度)

### 第1四半期実績

億円

	FY12 1Q	FY11 1Q	増減		備考
売上高	4,426	3,767	659	17.5%	都市ガス+411(販売量減・単価増)、その他エネルギー+174(LNG販売+134、電力+69)
営業利益	458	166	292	175.4%	都市ガス+232(原材料費+214)、その他エネルギー+27(電力+17、LNG販売+8)
経常利益	495	163	332	203.1%	営業外損益+39(専用設備料収入+25、受取配当金+8、為替レートの差損益+7)
当期純利益	317	89	228	254.2%	[当期]関係会社株式売却益 35、投資有価証券評価損 ▲38

総資産	18,466	18,638	▲ 172	▲0.9%	有形・無形固定資産+97(設備投資 406、償却▲329)、投資その他の資産+96(前払年金費用+27)
自己資本	8,570	8,391	179	2.1%	当期純利益+317、配当金支払▲116、自己株式市場買付▲49
自己資本比率 (%)	46.4%	45.0%	1.4	—	総資産の減少(▲0.9%)に対し、自己資本が増加(+2.1%)したため上昇
総資本回転率 (回転)	0.24	0.21	0.03	—	
有利子負債残高	6,547	6,258	289	4.6%	東京ガス+329、東京ガス都市開発▲60
当期純利益	317	89	228	254.2%	
減価償却(*2・3)	329	356	▲ 27	▲7.6%	東京ガス▲17、エネルギーアドバンス▲5
営業キャッシュ・フロー(*1)	647	446	201	45.0%	
設備投資(*2)	406	255	151	59.2%	[当期]東京ガス 229、TGイクシス 68、TGコーゴシ 40、エネルギーアドバンス 27
1株当たり当期純利益 (円/株)	12.34	3.38	8.96	265.1%	当期純利益増(+228)により上昇
1株当たり純資産 (円/株)	333.23	324.67	8.56	2.6%	

FY11 1Q数値は、P/L系の項目は前年同四半期数値を表示、B/S系の項目は前期末数値を表示

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

# 個別 主要決算数値(12年度 対 11年度)

## 第1四半期実績

億円

### 料金スライドの収支への影響

億円

### 経済フレーム

	FY12 1Q	FY11 1Q	増減	
総売上高	3,936	3,256	680	20.9%
営業利益	361	94	267	281.8%
経常利益	432	164	268	163.2%
当期純利益	271	114	157	137.3%

	FY12 1Q	FY11 1Q	増減
料金によるスライド回収	71	-325	396
原料費の増加分	124	-89	213
差し引き	-53	-236	183

	FY12 1Q	FY11 1Q	増減	
原油価格	122.57	115.00	7.57	\$/bbl
為替レート	80.18	81.71	-1.53	円/\$

金額は基準価格(66,180円)に対する増減額

億円

	FY12 1Q	FY11 1Q	増減			
製品売上高(ガス売上高)	3,085	2,679	406	15.2%	数量・料金構成差+48億円、単価差+358億円	
営業費用	原材料費	1,755	1,547	208	13.5%	数量・原料構成差+17億円、単価差+191億円(為替影響=▲29、油価影響=+192)
	(粗利)	(1,330)	(1,132)	(198)	(17.5%)	数量・構成差+31億円、単価差+167億円
	諸給与	239	246	-7	-2.8%	給料▲4億円(人員減等)
	諸経費	543	551	-8	-1.4%	詳細は下表参照
	減価償却費	244	259	-15	-5.8%	平成19年度税制改正影響▲27億円、本支管他新規取得に伴う増+12億円
	LNG受託加工費	-11	-11	0	-	
計	2,771	2,592	179	6.9%		
受注工事収支	-3	-5	2	-		
器具販売等収支	30	20	10	49.7%	器具収支 GHP+4億円、暖房給湯熱源機+1億円、床暖房+1億円 他	
営業雑収支	27	15	12	79.7%		
附帯事業収支	20	-6	26	-	LNG販売+8億円、電力販売+17億円 他	
営業利益	361	94	267	281.8%		
営業外収支	70	69	1	1.6%		
経常利益	432	164	268	163.2%		
特別利益	0	0	0	-		
特別損失	38	0	38	-	投資有価証券評価損38億円	
法人税等	122	49	73	145.4%		
当期純利益	271	114	157	137.3%		

### 諸経費

	FY12 1Q	FY11 1Q	増減		
修繕費	73	79	-6	-7.0%	本支管修繕費▲3億円
消耗品費	33	33	0	1.0%	
賃借料	48	46	2	3.8%	
委託作業費	158	157	1	0.9%	
租税課金	109	104	5	4.9%	事業税+5億円
需要開発費	39	47	-8	-17.2%	需要開発手数料▲12億円
その他	83	85	-2	-2.8%	

## 個別営業主要計数(12年度 対 11年度)

### 第1四半期実績

お客さま件数

千件

	FY12 1Q	FY11 1Q	増減	
お客さま件数	10,576	10,460	116	1.1%
新設件数	42	30	12	41.6%

個別ガス販売実績

百万m3

	FY12 1Q	FY11 1Q	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	97.1	97.0	0.1	0.1%	気温影響▲1.9m3(▲2.0%)、日数差▲1.1m3(▲1.1%)、その他増減+3.1m3(+3.2%)	
家庭用	867	858	9	1.0%	気温影響▲17百万m3(▲2.0%)、日数差▲9百万m3(▲1.0%)、件数差+6百万m3(+0.7%)、その他増減+29百万m3(+3.3%)	
業務用	商業用	392	377	15	4.0%	
	その他用	185	173	12	6.9%	
	業務用計	577	550	27	4.8%	気温影響▲9百万m3(▲1.6%)、その他増減+36百万m3(+6.6%)
工業用	発電専用	570	542	28	5.1%	
	発電専用以外	713	734	-21	-2.8%	別紙参照
	工業用計	1,283	1,276	7	0.6%	
	計	1,860	1,826	34	1.9%	
卸供給	519	513	6	1.2%	気温影響+3百万m3(+0.6%)、卸先需要家の既存物件稼働増+3百万m3(+0.6%)	
合計	3,245	3,197	48	1.5%	気温影響▲23百万m3(▲0.7%)、発電専用+28百万m3(+0.9%)、工業用(発電専用以外)▲21百万m3(▲0.7%)、卸供給(気温影響除き)+3百万m3(+0.1%)、その他+61百万m3(+1.9%)	
(内大口供給)	1,528	1,514	14	0.9%		

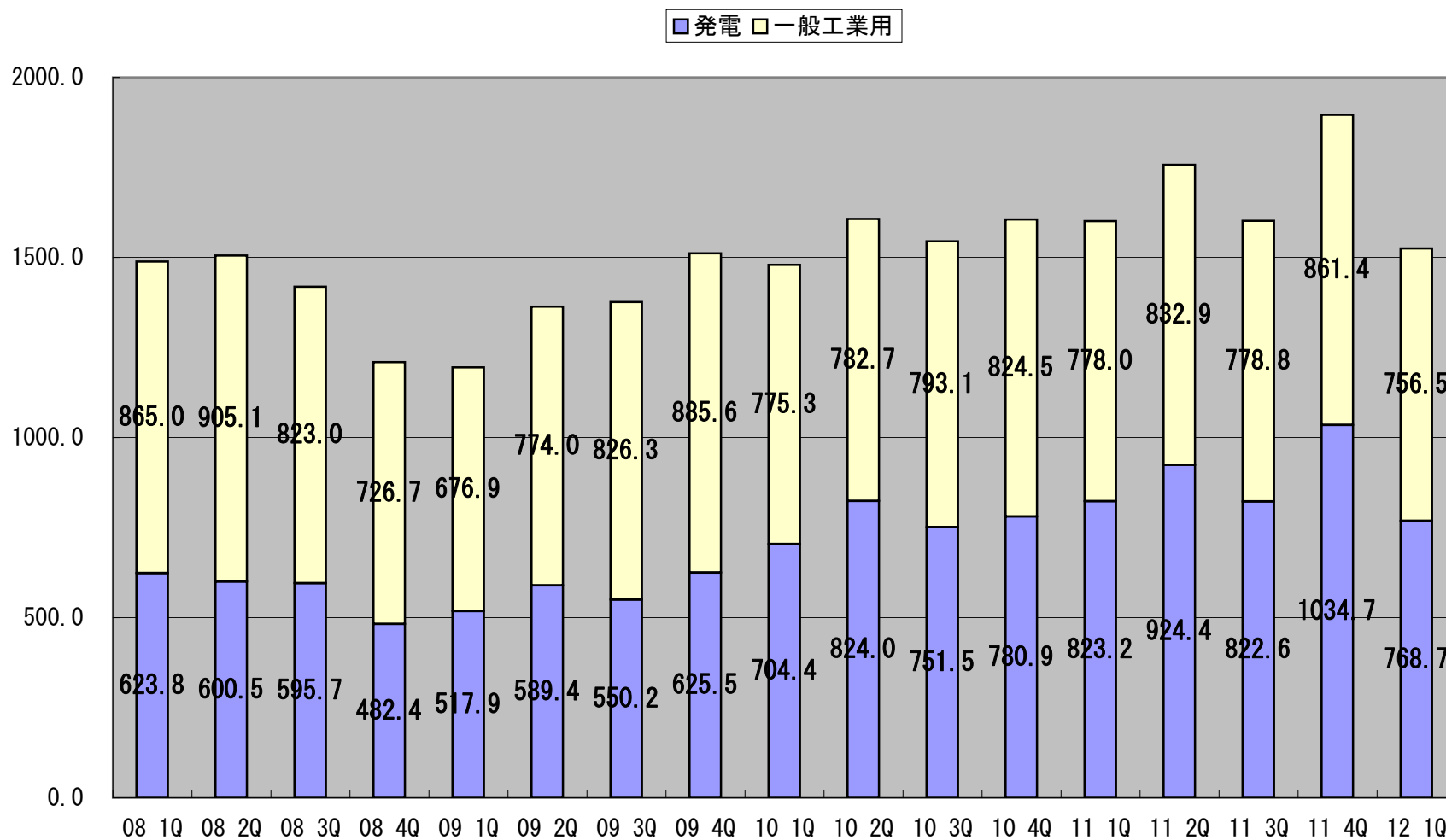
## 個別 工業用ガス販売動向 業種別内訳

	単位：百万m3 45MJ	12年度 第1四半期 (A)	11年度 第1四半期 (A)	増減 (A)-(B)	(%)	08年度 第1四半期 (C)	増減 (A)-(C)	(%)
一 般 工 業 用	食料品	129	124	5	4.6%	140	▲ 11	▲7.9%
	繊維	8	10	▲ 2	▲15.6%	9	▲ 1	▲12.2%
	紙・パルプ	39	42	▲ 3	▲7.1%	63	▲ 23	▲37.0%
	化学	149	166	▲ 17	▲10.4%	182	▲ 34	▲18.5%
	窯業土石	42	47	▲ 5	▲9.3%	42	0	0.0%
	鉄鋼	118	126	▲ 8	▲5.9%	147	▲ 29	▲19.5%
	非鉄金属	35	41	▲ 6	▲14.2%	38	▲ 3	▲8.5%
	金属機械	97	74	23	31.8%	116	▲ 18	▲15.8%
	その他製造業	93	106	▲ 13	▲11.6%	94	▲ 1	▲0.8%
小計	713	734	▲ 21	▲2.8%	832	▲ 120	▲14.4%	
発電専用	570	542	28	5.1%	590	▲ 20	▲3.4%	
計	1,283	1,276	7	0.6%	1,422	▲ 140	▲9.8%	

四捨五入等の関係で、計算が合わないことがあります。

# 連結 工業用ガス販売動向 四半期推移

百万m<sup>3</sup>, 45MJ



# 見通し編



## 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

### 経済フレーム

	FY12今回見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	111.29	100.00	105.64	\$/bbl
為替レート	80.09	80.00	80.05	円/\$
	FY12当初4/27見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	120.00	120.00	120.00	\$/bbl
為替レート	85.00	85.00	85.00	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	-8.71	-20.00	-14.36	\$/bbl
為替レート	-4.91	-5.00	-4.95	円/\$

### 原油価格変動の年度収支影響感度

億円

1\$/bbl	2Q	3Q	4Q	年度
売上高	▲ 13	▲ 5	▲ 1	▲ 19
原料	▲ 12	▲ 13	▲ 4	▲ 29
粗利	▲ 1	8	3	10

※油価が1\$下がった場合の収支影響額

### 為替レート変動の年度収支影響感度

億円

1円/\$	2Q	3Q	4Q	年度
売上高	▲ 24	▲ 20	▲ 5	▲ 49
原料	▲ 19	▲ 19	▲ 18	▲ 56
粗利	▲ 5	▲ 1	13	7

※為替が1円円高になった場合の収支影響額

## 連結 主要決算数値(最新見通し 対 当初見通し)

通期見通し

	億円				備考	第2四半期見通し			
	FY12	FY12当初	増減			FY12	FY12当初	増減	
売上高	18,440	19,140	▲ 700	▲3.7%	都市ガス売上高▲697(原料費調整制度に伴う売上単価減)	8,630	8,590	40	0.5%
営業利益	1,400	990	410	41.4%	都市ガス利益+333(原材料費減他)、その他エネルギー+82(電力+58他)	530	300	230	76.7%
経常利益	1,380	960	420	43.8%		540	290	250	86.2%
当期純利益	880	630	250	39.7%	特別損益▲3(関係会社株式売却益+35、投資有価証券評価損▲38)	320	190	130	68.4%
総資産	19,290	19,480	▲ 190	▲1.0%					
自己資本	9,020	8,740	280	3.2%	利益剰余金増+250(当期純利益増加)				
自己資本比率 (%)	46.8	44.9	1.9	-	自己資本増により上昇				
総資本回転率 (回転)	0.97	1.00	▲ 0.03	-	売上高減(▲3.7%)により下落				
ROA(*2) (%)	4.6	3.3	1.3	-	当期純利益増(+39.7%)により上昇				
ROE(*2) (%)	10.1	7.4	2.7	-	当期純利益増(+39.7%)により上昇				
有利子負債残高	6,380	6,870	▲ 490	▲7.1%	東京ガス▲510				
D/Eレシオ	0.71	0.79	▲ 0.08	-					
	当期純利益	880	630	250	39.7%				
	減価償却(*3・4)	1,400	1,400	0	-				
営業キャッシュ・フロー(*1)	2,280	2,030	250	12.3%					
設備投資(*3)	1,910	1,910	0	-					
TEP	509	218	291	133.5%	経常利益増(+43.8%)により増加				
(WACC)	3.1%	3.1%	-	-					
1株当たり当期純利益 (円/株)	34.20	24.37	9.83	40.3%	当期純利益増(+39.7%)により上昇				
1株当たり純資産 (円/株)	350.71	338.14	12.57	3.7%	自己資本増により上昇				
総分配性向(*5)	(*6)	-	-	-					

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(\*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(\*5)n年度総分配性向= ((n年度の年間配当金総額)+(n+1年度の自社株取得額))÷(n年度連結当期純利益)

(\*6)2020年度に至るまで各年度6割程度とします

# 個別 主要決算数値(最新見通し対当初見通し)

上期見通し

億円

## 料金スライドの収支への影響

## 経済フレーム

	FY12	FY12当初	増減	
総売上高	7,640	7,560	80	1.1%
営業利益	380	180	200	111.1%
経常利益	510	210	300	142.9%
当期純利益	320	150	170	113.3%

	FY12	FY12当初	増減
料金によるスライド回収	178	292	-114
原料費の増加分	211	432	-221
差し引き	-33	-140	107

	FY12	FY12当初	増減
原油価格	111.29	120.00	-8.71
為替レート	80.09	85.00	-4.91

金額は基準価格(66,180円)に対する増減額

億円

	FY12	FY12当初	増減	
製品売上高(ガス売上高)	5,850	5,920	-70	-1.2%
営業費用				
原材料費	3,514	3,735	-221	-5.9%
(粗利)	(2,336)	(2,185)	(151)	(6.9%)
諸給与	482	484	-2	-0.4%
諸経費	1,112	1,102	10	0.9%
減価償却費	497	497	0	0.0%
LNG受託加工費	-24	-24	0	0.0%
計	5,581	5,794	-213	-3.7%
受注工事収支	-5	-5	0	0.0%
器具販売等収支	40	36	4	11.1%
営業雑収支	35	31	4	12.9%
附帯事業収支	76	23	53	230.4%
営業利益	380	180	200	111.1%
営業外収支	130	30	100	333.3%
経常利益	510	210	300	142.9%
特別利益	0	0	0	-
特別損失	38	0	38	-
法人税等	152	60	92	153.3%
当期純利益	320	150	170	113.3%

数量・料金構成差+32億円、単価差▲102億円

数量・原料構成差▲12億円、単価差▲209億円(為替影響=▲184、油価影響=▲14)

数量・構成差+44億円、単価差+107億円

詳細は下表参照

器具収支 暖房給湯熱源機+2億円 他

LNG販売+7億円、電力販売+46億円 他

関係会社受取配当金+68億円 専用設備料収入+28億円 他

投資有価証券評価損+38億円

## 諸経費

	FY12	FY12当初	増減	
修繕費	162	163	-1	-0.6%
消耗品費	68	67	1	1.5%
賃借料	91	92	-1	-1.1%
委託作業費	318	317	1	0.3%
租税課金	211	210	1	0.5%
需要開発費	93	87	6	6.9%
その他	169	166	3	1.8%

需要開発手数料+5億円 他

## 個別 営業主要計数(最新見通し対当初見通し)

### 上期見通し

#### お客さま件数

千件

	FY12	FY12当初	増減	
お客さま件数	10,612	10,605	7	0.1%
新設件数	85	78	7	8.2%

#### ガス販売量内訳

百万m3

	FY12	FY12当初	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	145.8	142.9	2.9	2.1%	気温影響+2.1m3(+1.5%)、日数差▲0.1m3(▲0.1%)、その他増減+0.9m3(+0.7%)	
家庭用	1,302	1,275	27	2.1%	気温影響+19百万m3(+1.5%)、日数差▲1百万m3(▲0.1%)、件数差±0百万m3(±0.0%)、その他増減+9百万m3(+0.7%)	
業務用	商業用	867	854	13	1.5%	
	その他用	447	455	-8	-1.8%	
	業務用計	1,314	1,309	5	0.4%	気温影響▲2百万m3(▲0.2%)、その他増減+7百万m3(+0.6%)
工業用	発電専用	1,264	1,208	56	4.6%	
	発電専用以外	1,514	1,570	-56	-3.6%	
	工業用計	2,778	2,778	0	0.0%	
計	4,092	4,087	5	0.1%		
卸供給	1,039	1,059	-20	-1.9%	気温影響+2百万m3(+0.2%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲22百万m3(▲2.1%)	
合計	6,433	6,421	12	0.2%	気温影響+19百万m3(+0.3%)、発電専用+56百万m3(+0.9%)、工業用(発電専用以外)▲56百万m3(▲0.9%)、卸供給(気温影響除き)▲22百万m3(▲0.3%)、その他+15百万m3(+0.2%)	
(内大口供給)	3,401	3,416	-15	-0.4%		

# 個別 主要決算数値(最新見通し 対 当初見通し)

## 通期見通し

億円

	FY12	FY12当初	増減	
総売上高	16,310	16,950	-640	-3.8%
営業利益	1,110	720	390	54.2%
経常利益	1,220	750	470	62.7%
当期純利益	810	520	290	55.8%

## 料金スライドの収支への影響

	FY12	FY12当初	増減
料金によるスライド回収	91	872	-781
原料費の増加分	-20	1,032	-1,052
差し引き	111	-160	271

金額は基準価格(66,180円)に対する増減額

## 経済フレーム

	FY12	FY12当初	増減
原油価格	105.64	120.00	-14.36 \$/bbl
為替レート	80.05	85.00	-4.95 円/\$

億円

	FY12	FY12当初	増減			
製品売上高(ガス売上高)	12,660	13,360	-700	-5.2%	数量・料金構成差+71億円、単価差▲771億円	
営業費用	原材料費	7,402	8,417	-1,015	-12.1%	数量・原料構成差+23億円、単価差▲1,038億円(為替影響=▲393、油価影響=▲558)
	(粗利)	(5,258)	(4,943)	(315)	(6.4%)	数量・構成差+48億円、単価差+267億円
	諸給与	978	982	-4	-0.4%	
	諸経費	2,396	2,396	0	0.0%	詳細は下表参照
	減価償却費	1,033	1,033	0	0.0%	
	LNG受託加工費	-47	-47	0	0.0%	
計	11,762	12,781	-1,019	-8.0%		
受注工事収支	0	-2	2	-100.0%		
器具販売等収支	65	62	3	4.8%	器具収支 暖房給湯熱源機+2億円 他	
営業雑収支	65	60	5	8.3%		
附帯事業収支	147	81	66	81.5%	LNG販売+20億円、電力販売+47億円 他	
営業利益	1,110	720	390	54.2%		
営業外収支	110	30	80	266.7%	関係会社受取配当金+68億円 他	
経常利益	1,220	750	470	62.7%		
特別利益	0	0	0	-		
特別損失	38	0	38	-	投資有価証券評価損+38億円	
法人税等	372	230	142	61.7%		
当期純利益	810	520	290	55.8%		

## 諸経費

	FY12	FY12当初	増減		
修繕費	352	350	2	0.6%	
消耗品費	143	144	-1	-0.7%	
賃借料	182	183	-1	-0.5%	
委託作業費	647	648	-1	-0.2%	
租税課金	440	441	-1	-0.2%	
需要開発費	246	242	4	1.7%	需要開発手数料+4億円 他
その他	386	388	-2	-0.5%	

## 個別 営業主要計数(最新見通し 対 当初見通し)

### 通期見通し

#### お客さま件数

千件

	FY12	FY12当初	増減	
お客さま件数	10,679	10,679	0	0.0%
新設件数	186	186	0	0.0%

#### ガス販売量内訳

百万m3

		FY12	FY12当初	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		378.3	375.2	3.1	0.8%	気温影響+1.9m3(+0.5%)、日数差▲0.1m3(▲0.0%)、その他増減+1.3m3(+0.3%)
家庭用		3,385	3,358	27	0.8%	気温影響+19百万m3(+0.5%)、日数差▲1百万m3(▲0.0%)、件数差±0百万m3(±0.0%)、その他増減+9百万m3(+0.3%)
業務用	商業用	1,734	1,720	14	0.8%	
	その他用	890	899	-9	-1.0%	
業務用計		2,624	2,620	4	0.2%	気温影響▲2百万m3(▲0.1%)、その他増減+6百万m3(+0.3%)
工業用	発電専用	2,605	2,459	146	5.9%	
	発電専用以外	3,143	3,225	-81	-2.5%	
工業用計		5,748	5,684	64	1.1%	
計		8,372	8,304	68	0.8%	
卸供給		2,190	2,209	-19	-0.9%	気温影響+2百万m3(+0.1%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲21百万m3(▲1.0%)
合計		13,947	13,871	76	0.6%	気温影響+19百万m3(+0.2%)、発電専用+146百万m3(+1.1%)、工業用(発電専用以外)▲81百万m3(▲0.6%)、卸供給(気温影響除き)▲21百万m3(▲0.2%)、その他+13百万m3(+0.1%)
(内大口供給)		6,953	6,904	50	0.7%	

## 連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳

### 営業キャッシュフロー

第1四半期実績 (12年度 対 11年度)

億円

	FY12	FY11	増減	
当期純利益	317	89	228	254.2%
減価償却	329	356	-27	-7.6%
営業CF(当期純利益+減価償却)	647	446	201	45.0%

上期見通し (今回 対 当初4/27時点)

億円

	FY12	FY12当初	増減	
当期純利益	320	190	130	68.4%
減価償却	670	680	-10	-1.5%
営業CF(当期純利益+減価償却)	990	870	120	13.8%

通期見通し (今回 対 当初4/27時点)

億円

	FY12	FY12当初	増減	
当期純利益	880	630	250	39.7%
減価償却	1,400	1,400	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,280	2,030	250	12.3%

### 設備投資内訳

第1四半期実績 (12年度 対 11年度)

億円

	FY12	FY11	増減	
製造設備	51	24	27	110.0%
供給設備	153	145	8	5.6%
業務設備他	24	13	11	80.6%
連結子会社設備投資	178	73	105	143.8%
計	406	255	151	59.2%

製造設備 : 日立LNG基地関連他+27億円

供給設備 : 需要開発関連+16億円、安定供給関連他▲8億円

業務設備他 : その他業務設備他+11億円

連結子会社 : TGイクシス+68億円他

上期見通し (今回 対 当初4/27時点)

億円

	FY12	FY12当初	増減	
製造設備	113	119	-6	-4.6%
供給設備	381	383	-2	-0.6%
業務設備他	54	57	-3	-5.8%
連結子会社設備投資	272	271	1	0.4%
計	820	830	-10	-1.2%

製造設備 : その他製造設備他▲6億円

供給設備 : 需要開発関連+7億円、保安関連他▲9億円

業務設備他 : その他業務設備他▲3億円

通期見通し (今回 対 当初4/27時点)

億円

	FY12	FY12当初	増減	
製造設備	286	286	0	0.0%
供給設備	864	864	0	0.0%
業務設備他	237	240	-3	-1.2%
連結子会社設備投資	523	520	3	0.6%
計	1,910	1,910	0	0.0%

業務設備他 : その他業務設備他▲3億円

\*上記3表の「連結子会社設備投資」には連結相殺含む

# 東京ガス株式会社

## <見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ  
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ  
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油  
価格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への  
東京ガスの対応等があります。